ODBC データソースの実行手順

以下のような場合に、本手順書の内容を実施ください。

- ・達人がデータベースに接続できず、起動できない場合
- ・達人がデータベースに接続できる状態であるかテストしたい場合
- ・ネットワークライブラリの設定を変更する場合
- ①[Windows スタート]-[Windows システムツール]-[コントロールパネル]を開き、
 画面右上の表示方法を"大きいアイコン"もしくは"小さいアイコン"に設定します。

②一覧から[管理ツール]-[ODBC Data Sources (32-bit)]を開きます。
 ③以下画面が表示されます。画面右上の"追加"ボタンを押下します。



④「データソースの新規作成」画面にて、"SQLserver"を選択して"完了"ボタンを押下します。



⑤以下画面で内容を入力し、"次へ"で進みます。

名前は「達人接続テスト」、説明は任意です。

サーバー欄で▼を押下し、一覧から達人が接続するサーバー名を選択します。

(※サーバー名が表示されない場合はサーバー名を手入力してください。)

このウィザードは、SQL Server に接続するために 成するお手伝いをします。 新しいデータソースの名前を入力してください。 名前(M): 達人接続テスト		する ODBC データ ソースを作
	データ ソースについての説明を入力してください。 説明(D): 達人データベースへの接続テ 接続する SQL Server サーバー名を入力してください サーバー(S): LAPTOP01¥UNIONINS	に入 ト TANCE19 ~
	完了 次へ(N) > キ	ヤンセル ヘルプ

⑥表示された画面で、以下のように設定ください。

●ユーザーが入力する SQLserver 用のログイン ID とパスワードを使う
 ☑SQLserver に接続して追加の構成オプションの既定設定を取得する
 □グイン ID : UNIONsa
 パスワード : union7778!

ここまで入力後、"クライアントの設定"ボタンを押下します。

SQL Server に接続するた	めの新規データ ソースを作成する	×
	SQL Server が、ログイン ID の権限の確認を行う方法は?	
	○ ネットワークへのログイン ID で、Windows NT の認証メカニズムを使	ð(W)
	◉ ユーザーが入力する SQL Server 用のログイン ID とパスワードを使う	ò(S)
	SQL Server との通信に使用するネットワーク ライブラリを変更するには、[クライアントの設定] をクリックします。	
	クライアントの設定(T)	
	☑ SQL Server に接続して追加の構成オプションの既定設定を取得する(C)
	ログイン ID(L): UNIONsa	
	パスワード(P):	
	< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル へ	ルプ

⑦「ネットワークライブラリ設定の編集」画面が表示されます。

ネットワークライブラリ欄にて、"●Named Pipes"を選択して"OK"を押下します。

(※上記は TCP/IP で接続できない場合の手順です。

Named pipes で接続できない場合は TCP/IP を選択します。)

ネットワーク ライブラリ設定の編集			×
山梨 サーバー別名(A):	LAPTOP01¥UNIONINSTANCE19]	
ネットワーク ライブラリ Named Pipes(P) つ TCP/IP(T) Multiprotocol(M) NWLink IPX/SPX(X) AppleTalk(K) Banyan VINES(V) VIA こその他(O)	接続パラメーター サーバー名(S): パイプ名(E):	LAPTOP01¥UNIONINSTANCE19	
		OK キャンセル ヘルプ	

⑧ 「⑥の画面」に戻る為、そのまま"次へ"で進みます。

★サーバーに接続できない場合は、次の⑨の画面へ進みません。
ここでサーバーに接続できない場合、ネットワークなど環境の調査が必要です

X

⑨表示された画面で、以下のように設定して"次へ"で進みます。

☑既定のデータベースを以下のものに変更する

一覧から"ust○sys"を選択。

SQL Server に接続するための新規データ ソースを作成する

	ust9sys ~ ロデータベース ファイル名を添付(日):
<u>~</u>	
	☑ ANSI の引用符付き識別子を使用する(U)

⑩表示された画面で、以下のように設定して"完了"を押下します。☑SQLserverのシステムメッセージを以下の言語に変更する

一覧から"Japanese"を選択。

	Japanese v v v v v v v v v v v v v v v v v v
	□ データに強力な暗号を使用する(Y)
	✓ 文字データを変換する(P)
	□出力時の通貨、数値、日付、時刻の形式にはシステムの地域設定を使用する(し
	□ 実行時間が長いウェリを以下のログ ファイルに保存する(S):
	C:¥Users¥MMARUY~1¥AppData¥Local¥Temp¥Ql 参照(R)
	保存するクエリの最短所要時間 (ミリ秒)(L): 30000
	□ ODBC ドライバーの統計情報ログを以下のログ ファイルに保存する(O):
	C:¥Users¥MMARUY~1¥AppData¥Local¥Temp¥ST 参昭(W)

⑪"データソースのテスト"ボタンを押下します。

「テストが無事に完了しました。」の結果が出れば、"OK"を押下します。

ODBC Microsoft SQL Server セットアップ	× SQL Server ODBC データ ソース テスト ×
以下のとおりの設定で、新規の ODBC データ ソースが作成されます: Microsoft SQL Server ODBC ドライバー Version 10.00.19041 データ ソース名: 違人接続テスト データ ソース名: 違人接続テスト データ ソースの説明: 違人データベースへの接続テスト サーバー: LAPTOPO1¥UNIONINSTANCE19 データベース: ust9sys 言語: Japanese 文字データを変換: Yes 実行時間の長いりエリをログに記録する: No 地域設定を使用する: No 準備されたステートメントのオプション: 一時プロシージャを接続解除時に削除し まず フェイルオーバー サーバーを使用する: No ANSI の引用符付き識別子を使用する: Yes データの暗号化: No	テスト結果 Microsoft SQL Server ODBC ドライパー Version 10.00.19041 接続テストを実行中です 接続を試みています 接続が確立されました オプションの設定を確認しています サーバーとの接続を解除しています テストは無事に完了しました。
データ ソースのテスト(I) OK キャンセ	ОК

以上で完了です。

画面を閉じて、達人の起動確認を行ってください。